

## 市民懇談会 質疑応答と意見（要録）

1 11月28日（土） 午前10時00分～午前11時10分  
 東部市民センター 集会室 参加者1名

参加者	なぜ小平市リサイクルセンターは暫定施設なのか。ここは市の土地なのか。
事務局	廃棄物処理の基本的な考え方は、自区内処理が前提にあり、各自治体の施設で処理することになっている。そのため、暫定的に現施設を建設した。この土地は小平市が所有している。
参加者	これから3市共同でペット・プラを処理するにあたり、他の資源物は新たに整備する小平市リサイクルセンターで処理することになったということか。昨年から分別方法が一部変わり、なべの収集も増えてきていると思うが、今後の資源物の更なる増加にも対応できる施設になるのか。
事務局	保管場所に関しては、複数種類の資源物を1か所にまとめて置けるよう、ストックヤードを広く確保するので対応できると考える。 分別を細かくすることで、市民に分別の負担が生じるため、単純に分別を増やせばいいというものではなく、私たちも勉強させていただいて資源化率を上げていくようにする。
参加者	小型家電の回収は全量、直接業者の方へ運ばれるのか。
事務局	その通りです。
参加者	大沼公民館に小型家電の回収ボックスがあり、いい取り組みだと思う。陶磁器食器はイベント回収だが、うちは割れたものしか捨てないので、それも回収してくれる場があるといい。
事務局	ワークショップのメンバーからもそのような意見があり、新リサイクルセンターでは常設で回収できる場所を設けたいと考えている。 プラザエリアの受付で、陶磁器食器などを受け取ろうかと考えている。基本計画の素案の冊子の35ページ下部の方にも載せており、玄関で資源物の引き取りや交換コーナーを設けることなどを検討。場合によっては交換コーナーでいつでもご自由にお取りいただけるようになる。細かい運営方法は、今後業者

	と検討したい。 また、ストックヤードは極力壁で区切らないように広く取ってある。資源物の回収量が増えても対応できるようにしている。
参加者	古布類は、収集したものを更に選別しているか。
事務局	現施設はストックのみで、直接古布類は問屋さんへ運びこみ、そこで資源化している。
参加者	集会室ができるということで、段ボールコンポスト講習会も開けるのか。
事務局	もちろん開催できます。
参加者	この集会室は市の行事だけでなく、一般の人も使いたい場合は貸し出せるのか。
事務局	現在思案中。本施設は環境の発信拠点なので、環境に関する活動をしている団体に積極的に使ってもらいたい。ただ、管理をどうするかという問題があり、これから整理していく。利用されず置いておくのは勿体ないので、是非貸し出したいところだ。
参加者	多目的ルームは何人収容なのか。団体で利用したいが、広すぎる。
事務局	概ね100名収容で、社会科見学に訪れる小学4年生3クラス分を受入れられる想定。また、空間はパーティションで区切ることができる。
参加者	プラザ機能を備えた施設ということだが、建設費が当初より安くなったと聞いた。
事務局	当初はざっくりとした条件での見積りだったが、その後条件内容を煮詰め、再度メーカーに見積もっていただいた数字が約13億円となった。
参加者	東村山市秋水園と同じような金額になるのか。
事務局	今のところ近い数字だが、まだ計画段階なので同じようになるとは限らない。

参加者	<p>狛江市ビン・缶リサイクルセンターは素敵だった。秋水園はシンプルな建物でいいが、外観の面白みに欠ける。</p>
事務局	<p>東村山は工場であり、見学用通路・会議室はあるが、プラザ機能はない。</p>
参加者	<p>狛江市の同施設の建設費は高かったのか。</p>
事務局	<p>同施設は平成5年竣工。敷地面積が狭く、処理量も小平市の半分程度。だが平米単価に直すと相当高いだろう。</p>
参加者	<p>目立たなくて、かつ工場のようにならないよう、地域の方の意見を尊重して設計してほしい。</p>
事務局	<p>狛江市や東村山市のリサイクル施設はワークショップのメンバーで見学した。狛江市のリサイクルセンターは、すぐ隣は住宅地であり、準工業地帯に立地しているという理由もあってセットバックしたり、アーチ状の屋根にするなど圧迫感がないような形になっている。</p>
参加者	<p>見学コースは狛江市のように、上から作業場を見下ろす形なのか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
参加者	<p>私も、こうしたいい施設になるといいなと思う。 現在のリサイクルセンター西側広場の方は芝があるが、サッカーなどしているのか。</p>
事務局	<p>試合などはできないが、毎日夕方になるとサッカーやキャッチボールをよくしている。</p>
参加者	<p>新しいリサイクルセンターは、東側敷地を芝生にして、ボール遊びも可能にするのか。</p>
事務局	<p>今までと同じようなルールで考えている。</p>

参加者	<p>労働環境については、夏は暑いということは今後改善されるのか。</p> <p>また、シルバーを活用すると人件費が安いそうだが、知人のシルバーの話を聞くと、自給数百円だったそう。そんなことはあるのか。</p>
事務局	<p>労働環境は今よりも改善される。</p> <p>シルバーの時給に関して、それは聞いたことがない。今後の運営形態については、シルバーに委託するかどうかは、現時点では決めていない。今後調査をして、単年度か長期契約にするかについても検討していく。</p>
参加者	<p>コスト縮減も大事だが、労働環境も配慮してほしい。</p>
事務局	<p>承知している。</p>
参加者	<p>あと、柳泉園で水銀の問題が出ているので、そういうことのないようにして欲しい。業者が問題だったのか、かなりの量が検出されたい。</p>
事務局	<p>はっきりとした原因については分かりませんが、ごみの出し方の徹底や分別については、しっかりと周知していく必要はあると思います。その点では、市民の皆様にも理解を広め、一緒になって考えていくことが大切です。</p>
参加者	<p>本施設では環境汚染はないと思うが、しっかりと管理してほしい。</p>

2 12月4日(金) 午後7時00分～午後8時00分

小川西町公民館 講座室 参加者1名

参加者	<p>素案冊子の3ページ表2-1の実績値及び推計値実績値に対して推計値がかなり甘いのではないか。バックグラウンドにあるはずの人口推移が載っていないが、どのくらい反映されているのか。</p> <p>今まで減少傾向だった資源物の排出量が、平成27年度以降白色トレイや紙パックにしても増える形になっている。ビン・カンについても同様。</p>
事務局	<p>人口推移については掲載すべきか悩んだところだが、有料化を含めると実際のごみ量は20%減少し、その代わりに今まで可燃ごみ・不燃ごみに混ざっていた分の資源物がリサイクルに回されて増えていくという想定で、この表の推計を出している。</p> <p>これを文章で説明しようとする、逆に複雑になる懸念がある。人口はこれから減っていく予想だが、資源化率は上昇するので資源物の排出量が増えるという考え。</p>
参加者	<p>暗黙に資源物は無料回収をすると量が増えると考えているからではないか。資源物の回収料は無料にする自治体もある。それを先取りした推計になっているのではないか。</p>
事務局	<p>そこまではまだ決まっていない。有料化についてはこれから進めていく。</p>
参加者	<p>安定処理を目指してなるべく容量に余裕を持たせようという考えがあるのだと思うが、施設の完成が平成31年で、その間に人口が急速に減ることはないだろうが、その後はずっと減少を続ける。だから容量オーバーが目に見えている。</p> <p>資源化施設の計画は、ごみの有料化と並行して進めるものであり、有料化の効果が出ないうちにリサイクルセンターの設計しなければならない。</p>
事務局	<p>来年度に入れば、今年度の実績が出るので、それを元に推計値の補正をかけて容量の縮減になるかもしれない。こちらとしても、大きな施設は造りたくない、現実的に安定処理が可能な範囲で容量を絞りたい。</p> <p>選別ラインについては共通1ラインを想定し処理量12.6t/日としているが、日量が10t程度に減少しても、施設規模はほとんど変わらないというメーカーからの回答を得ている。あとはヤードの容量の問題。</p>

参加者	運営費の光熱費は含まれていないのか。
事務局	46ページの表中、需用費に含まれている。
参加者	以前提案した、電気はPPSを検討していただけたか。
事務局	<p>確認したところ、平成28年度から電力の自由化が始まり、リサイクルセンターは可能なようなので、検討する。ごみ焼却場は使用する電力が違うため、自由契約はできないようだ。</p> <p>素案にはそこまで書けないので、今のところ文章に起こしていない。</p>
参加者	屋上緑化と太陽光発電の二本立てだが、環境対策のデモンストレーションとして設置するのか。
事務局	<p>ソーラーパネルは、小平市が日本一を目指しているから。また、施設整備課によると、屋上緑化をする必要があるようだ。屋根の形状を変えれば屋上緑化はできなくなるが。</p> <p>ただ、リサイクルセンターは環境発信拠点となるので、屋上も小学生らの見学場所となるよう、エレベーターを屋上まで行けるように設置する。</p>
参加者	屋上の空白スペースがあることが、もったいないなと思った。
事務局	<p>確かに空間の有効活用はしたい。ただ、あまり南側に配置するとマンションに近くなってしまうので北側に持って行き、太陽光を十分に受けられるようにする。また、緑化エリアと通路を設けようと考えている。</p> <p>屋上緑化はない方がいいか。</p>
参加者	屋上緑化は実効性が乏しい。
事務局	確かにメンテナンスが大変。だが、何らかの形で環境発信となるよう、屋上緑化をしようと考えている。
参加者	以前は屋上緑化が推し進められていたが、今はソーラーパネルの方がいいという流れになっている。

事務局	まだ設置面積は決まっていないので、柱の強度も考慮しつつ、屋上緑化やソーラーパネルを入れ込むかどうか検討していく。
参加者	ある地域センターでは風力発電を設置しているようだが、有用性はあるか。
事務局	小平は風が強くないので、風力発電は向かないそうだ。
参加者	<p>ビン・カンにしても、極力店頭回収するようにして欲しい。小平市内では、アルミ缶を集めるお店は多いようだ。スチール缶は少なめ。アルミ缶は単価が高いため、需要があるのだと思う。</p> <p>こうした、市内スーパーの調査報告は更新して欲しい。また、HPだけの広報ではわからない。</p>
事務局	市民への周知方法は悩ましいところ。
参加者	紙媒体で周知する方がいいと思う。お店で拠点回収をやっていることを載せればいい。
事務局	<p>しかし、お店の名前を載せると、スポンサー扱いになりかねない。現在は、「ごみと資源の出し方」で清掃組合からは一口もらい、スポンサーになってもらっている。</p> <p>紙媒体のパンフレットは、シルバー人材センターに委託して市内全戸配布したにも関わらず、まだ分別変更を知らされていないという問合せがある。だから、紙を配るにしても効果に限界がある。ごみ問題は市民の意識改革に懸っている。</p> <p>そこで、今年スマートフォン用のごみアプリを作成した。</p>
参加者	<p>たいていの場合、基本的な分別は理解しても、それ以外のものはいちいち調べないだろう。</p> <p>アプリは利用にお金がかかるのか。</p>
事務局	通信費はかかるが、ダウンロードは無料となっている。
参加者	市民はどんなことで分別を間違えるのだろう。

事務局	<p>スプレー缶を燃えないごみに出している場合が多く、また固定観念で分別の判断をしていると思われる。その他に、3市で分別の基準が違うことで、引越先の自治体で分別方法にギャップが生じる。</p>
事務局	<p>長く市内に住んでいると、間違った分別をしたら警告シールを貼られるので、それを繰り返していくうちにだんだん正しい分別を覚えていく。</p> <p>一方で、学生は地元と違う分別だと対応できない。これは、学生のまちならでの課題だろう。</p>
参加者	<p>クリーンメイトも活動されているが、常に集積所において指導できる訳ではない。</p>
事務局	<p>後出しや夜中に出されちゃうと、それを一つひとつ直させようにも、マナー違反者とのいたちごっこになる。永遠のテーマだ。</p> <p>拠点回収でペットのラベルは外すべきか、その必要はないのか。店によってその基準がまちまちになっている。</p> <p>市のHPには拠点回収の有無は載せているが、ラベルの取り扱いまで載せていない。そういった情報も載せた方が丁寧だ。</p>
参加者	<p>生協ではラベルをはがすよう注意書きがある。</p>
事務局	<p>そこに統一感がない。お店同士で同一の取り決めがないので分別が難しくなる。各社が独自にリサイクルルートを持っていると、それによって分別の細かさも変わってしまう。</p>
参加者	<p>そこに拡大生産者責任が伴えばいいのに。その責任を求めて私たちは運動しているのに、行政が一生懸命ペットを集めてしまうから困っている。</p>
事務局	<p>こちらとしても、回収する必要があるに越したことはない。</p>
参加者	<p>紙資源はどこに搬入しているのか。</p>
事務局	<p>市内7業者が回収して、直接紙問屋（市外）に持ち込む。</p>
参加者	<p>他の資源物に関して、紙資源の様な運搬・処理ルートはないのか。</p>



事務局	<p>古布類、生きびんはそれに該当する。今できることはやっているはず。</p> <p>企業に働きかける必要はあるが、企業が全部できるわけではないので、こぼれた部分は市がやるという形。</p> <p>収集・運搬・処理方式の一つの分岐点として平成31年がある。</p>
参加者	<p>だが、一度建物を造ってしまうと、フル稼働させるために集める資源物が必要になり、それに反するように焼却場では燃やすものがなくなった挙句、リサイクルすべきプラを焼却する事例もあるようだ。</p>
事務局	<p>そればかりは、未来のことなので推計でしか考えられない。</p>
参加者	<p>リサイクルセンターの運営費には補助金は出ているのか。</p>
事務局	<p>運営は委託しており、特に補助金はない。建物建設に対して、国から交付金が出る。</p>
参加者	<p>施設の延命化は出来ないのだろうか。有料化した後に建て替える方がいいと思う。</p>
事務局	<p>施設はもう限界に来ており、建て替えは待ったなしの状態である。従業員の作業環境も厳しい状態で、仕事のモチベーションにも影響してしまう。</p> <p>焼却施設もリサイクル施設も万が一止まることがあってはならない。壊れてから直すでは間に合わない。今でさえ故障を修繕して、どうにか稼働させている。建物自体はまだしも、中の機械が頻繁に故障している。</p> <p>壊れて止まってしまったら、他市にお願いすればいいという考えも出てくるかも知れない。しかし他市の側からすれば、小平市は壊れることを予測できなかったのかという。だから我々は平成31年に施設を更新しなければならない。</p>
参加者	<p>2020年に建物に関して高断熱・高气密の基準ができるようだが、リサイクル施設はこれに当たらないのか。</p>
事務局	<p>環境・エネルギーに関しては、費用がかさむことに批判もあるだろうから、金額との折り合いがつく範囲で行う。</p>
参加者	<p>ビンの自動色選別機は導入するか。</p>

事務局	あまり効率が良くないと聞いているので、導入しない。その代わりに、破袋機を付けることにした。
参加者	現在、ビンはどこに流れているのか。
事務局	容器包装リサイクル協会に出荷している。当協会を通した方が確実に処理できる。単独の民間企業と直接契約した場合、会社が潰れてしまうと、うちのビンの搬出先がなくなってしまう。ストックヤードも1週間程度でいっぱいになってしまうので、身動きが取れなくなることを避けたいという考えである。
参加者	民間が不安定ということに関連して、2年ほど前から中国がプラを引き取らなくなったことから、八王子市の施設に九州の業者が引き取りに来ているらしい。
事務局	国内処理できる会社はある。例えば、ジャパンテックはペットの再利用をしている。海外に頼り切ると、社会情勢が悪くなるとこちらへの影響も大きくなってしまう。
参加者	やはりプラスチックは害があるものなので、生産・消費を抑えるよう拡大生産者責任を求める。景気が悪いときは企業もマイバッグの取り組みをしていたが、景気が良くなっていくとそれも風化してしまう。消費者全員が行動すべきだが、それを行政に引っ張っていただきたい。 是非、改めてマイバッグ使用を徹底してほしい。
事務局	我々も地道に啓発活動などを行っているところだ。 皆さんに愛される、環境の発信施設となるよう、今後のご理解、ご協力、ご意見をいただきたい。
参加者	段ボールコンポストなども開きたい。
事務局	そういうイベントの場も準備する。地域を動かせる方がこの施設を守り、次世代に引き継いでいただくのが理想である。
参加者	あと、ごみ減量推進実行委員会の活動も活発なので、イベントだけでなくこうした計画に係る活動もしたらいいのではないかな。

事務局	これからそのようにシフトしていくと思う。そのきっかけがこの施設更新になる。
-----	---------------------------------------

### 3 12月13日(日) 午後2時00分～午後3時00分

中央公民館 講座室2 参加者4名

参加者	安全への配慮の視点で、取り扱う品目の中で水銀など人体に影響があるものに対する対応はどうされるのか。
事務局	<p>素案3ページの上部、表2-1にあるように資源物7品目を取り扱う予定。現在はペットボトルとその他プラスチックも処理している。</p> <p>選別処理は例えば、回収されたビンの袋の中にカン等の異物が混ざっているような場合に、異物を手選別で取り除き、ビンだけを色別に分けて、引き取り業者が搬出するという作業をしている。そのような作業が中心のため、火気や爆発物の取り扱いはない。</p> <p>もちろん蛍光管・水銀体温計等は取り扱いの基準に従って、厳重に室内管理する。新たなリサイクルセンターでは一時保管をするだけで、蛍光管等を割ることはない。スプレー缶も同様に一時保管するのみで、穴あけ・分解等はしない。</p>
参加者	工事中、稼働後は車の出入りが増えることになるのか。こちらからの願いとして、本施設に遊びに来る子どもたちの安全確保をしてもらいたい。
事務局	<p>素案41ページのように、搬入車両は北側道路から進入し、時計回りに回って資源物を降ろして出ていくという流れになっている。運搬車両は現在、主にビン・カン・ペットボトルを扱っている。ただし、今後ペットボトルは三市共同で処理するため東大和市の施設に搬入される。厳密に台数が増えるかどうかは、来年度の環境影響調査の中で調べる。</p> <p>素案14ページ、表2-7で平成27年7月1日の搬入車両台数を示している。カンを収集した車両が同時に別の資源物を積む場合もあり、またペットボトルが搬入されなくなるので、今よりも少なくなるだろうと予測している。</p>
参加者	今夏、稼働時間の延長が二度あったが、今後の稼働時間の設定は現在と同様の17時までなのか、もっと長くなるのか。

事務局	<p>今回の延長の理由は、夏場のペットボトル飲料の需要増により、搬入量が多く、その日のうちに処理作業が追いつかなかったため。ビン・カンについては今までも時間内に処理しているので、今後よほどこれらの需要が伸びない限り延長はないと思う。</p>
参加者	<p>防球ネットが敷地を囲うように張ってあるが、今後はどうなるのか。私は設置してほしいと思う。</p>
事務局	<p>防球ネット、中低木の植栽、もしくは金網を取り付けるといったことは、これから具体的な検討をしていく。もちろん防犯上、本施設内から外、外から内が見えるように検討していく。</p>
参加者	<p>ある程度の臭いは仕方ないと思うが、排気口の位置によっては全体の悪臭基準をクリアしていても、局所的に強い臭気が集中してしまう恐れがある。そのため、排気口の位置を教えていただきたい。</p>
コンサルタント	<p>素案33ページ、悪臭対策は3点あり、まず搬入してきた資源物を貯めておく所に消臭剤を噴霧する。2つ目に脱臭設備として、活性炭などを新たに導入。3つ目は、作業はすべて建屋の中で行うことから、車両が出入りする扉には臭気が外に漏れないようエアシャッターを取り付ける。</p> <p>また、排出口のお話が先ほどあったが、貴重なご意見だと思っており、当然建屋の敷地境界から遠いところに排出させることを考えているが、それを素案に盛り込めていなかったため、反映していきたい。</p> <p>実際には施設が竣工したら試運転を行い、悪臭が一番発生する場所の敷地境界で測定し、基準値を十分にクリアしているか確認する。</p>
参加者	<p>防犯に関して、本施設の内外が見えるよう中低木を植栽するとあったが、その他に防犯対策として取り組む内容を教えてほしい。</p>
事務局	<p>ワークショップの中で、監視カメラの設置案が出ている。ただ、それを付けることが最適なのかは地域の方の考えがあることから、具体的には決まっていない。</p> <p>今後のワークショップ等から、防球ネットがいいか、金網がいいか、更には鍵をかけるようにするかご意見を頂戴して、地域皆さんの負担にならないようにして、安全に安心して利用できる施設にする。</p> <p>鍵の取り付けの有無については、ワークショップで地域の皆さんから「夜間、</p>

	<p>子どもたちが来て遊ぶのは防犯上好ましくない」という意見があった。市としては、夜間は閉鎖しようと考えている。本施設の開放時間を決めて、夜間は建物を含めて施錠する。それと合わせて、外からも施設内が見えるようにしようというものである。</p>
参加者	<p>施錠は、北側の出入り口だけでなく、西側・東側にもするのか。</p>
事務局	<p>そうする。現在も車が入れないよう、夜間は鍵をかけてある。実際にどのような施錠形態にするかは今後検討する。</p>
参加者	<p>リプレこだいらがリサイクル施設と一体化することに伴い、規模の変化や現状の課題をどのように反映するかなどを教えてほしい。</p>
事務局	<p>リプレこだいらの現状は、10時から17時まで営業し、毎週水、木曜日を定休日としている。運営はシルバー人材センターにやってもらっている。</p> <p>この近隣で充実したリサイクル品の家具販売店が少ないため結構需要があり、商品の運搬サービスも行っている。現況の床面積は約250㎡だが、今度は約300㎡まで広げる。</p> <p>本施設では、一般車両の動線確保のために建物最南部に配置し、工作などの体験ができる機能も盛り込んで行きたいと考えている。</p> <p>営業日時についても、現状から変更するか検討して行く。</p>
参加者	<p>東側敷地の地域還元エリアには北側からも進入できるようになっているが、他の方角からは入れないのか。</p>
事務局	<p>南西側、プラザエリアの出入り口からも地域還元エリアに入れるようになっている。プラザエリアの駐車場は地域還元エリアの利用者も使える。また、図に落とし込んではいないが、この駐車場の中に駐輪場も設ける。</p> <p>基本的に北側と南西側の2方向から出入りする形。</p>
参加者	<p>不思議に思ったのが、通常車を止めるエリアに歩行者の動線を置くというのは、安全上好ましくないのではないかと思う。現在の計画では、車止めの後ろに歩行者動線があり、危険ではないか。</p> <p>南西側から入ってくる人の目的の多くは、地域還元エリアに行くことだと考えられる。それなら敷地東側に入口を設けた方が、利便性が高まると思う。</p>

事務局	<p>東側からの人の出入りについては、この敷地東側を走る道路は私道であるため、本施設利用者の車両を行き来させることは考えていない。そのため、一般利用者の車は敷地西側の市道から入る形となる。</p> <p>素案41ページ、図9-1の地域還元エリア東側に隙間があるが、これは人の出入りはできるように考えている。</p> <p>敷地南西部の車止めと歩行者動線の関係については、動線の造り方をよく考え、人が車と接触しないようにする。人が駐車場とプラザエリアの間を歩くとむしろ危険なので、そういったことがないように導線配置を検討する。</p> <p>北側は主に資源物の運搬車両が使う道路とするので、一般の方はあまりここを通らないように考えているが、小学生の社会科見学等で大型バスを入れる時には北側から進入し、地域還元エリア北側入口付近に止められるようにする。この場合、プラザエリアへは地域還元エリア内を通して向かってもらうことになる。</p>
参加者	<p>その他プラスチックの処理は今後どうなるのか。</p>
事務局	<p>ペットボトルと同じく三市共同の施設で処理することになる。</p>